取扱説明書
洗濯乾燥機
WT 945 S WPS

事故や障害を避けるために、本機を取り付けご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになることが大切です。

M.-Nr. 05 905 820

目次

洗濯

乾燥

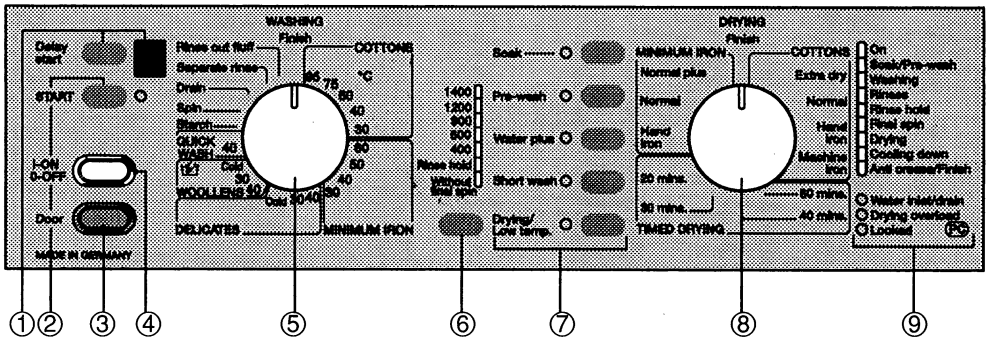
洗濯と乾燥

メンテナンス

設置

各部の名称

1 電源コード
2 給水ホース
（ウォータープルーフシステム）
3 排水ホース
4 洗剤ディスペンサー
5 操作パネル
6 ドラム扉
7 排水点検口
8 高さ調節脚
9 水抜きホース
ドア手動開放レバー

操作パネル

① Delay start（タイマー設定ボタンと時間表示ディスプレイ）

② START（スタートボタン）

洗濯/乾燥プログラムをスタートさせます。ランプ点滅時にプログラムをスタートできます。

③ Door（ドアボタン）

ドアを開く時に押します。

④ I-ON / 0-OFF（電源スイッチ）

電源の入り切りやプログラムを中止したりします。

⑤ WASHING（洗濯プログラムセレクター）

洗濯物にあわせてプログラムを選択します。

⑥ スピンボタン

ドラムの回転について以下の設定をします。

－回転数設定（400～1400rpm）
－Rinse hold
（リンスホールド：排水ストップ）
－Without final spin（最終脱水なし）

⑦ 追加機能ボタン

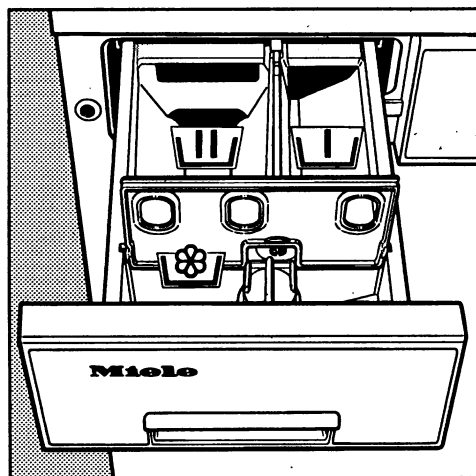
⑧ DRYING（乾燥プログラムセレクター）

乾燥させる衣類にあわせてプログラムを選択します。

⑨ 進行表示ランプ（黄）
エラー表示ランプ（赤）

機能と名称

洗剤ディスペンサー

区画

\I/ ＝予備洗い

\II/ ＝本洗い

✿/（ふた付き）＝柔軟仕上げ剤

洗剤ディスペンサーは3つの区画に別れています。

ご使用の手引き

この洗濯-乾燥器の容量は以下の通りです。

- **洗濯のみ：最大5kg**
- **乾燥のみ：最大2.5kg**
- **洗濯と乾燥を連続して続ける場合：最大2.5kg**

プログラムセレクター（WASHING、DRYING）を回してプログラムを選択します。それから、必要な追加オプションのボタンで機能を追加します。
追加オプションが選択されるとそれぞれのインジケーターランプが点灯します。
プログラムセレクターは左右どちらにでも回すことができます。

プログラムを開始するにはスタートボタン（START）を押します。

進行表示ランプ（操作パネル右端）が洗濯プログラムまたは、乾燥プログラムの進行状況を表示します。

その他の機能も必要に応じて追加できます。

本書について

各セクションにおいて文頭にある（❶、❷、❸、…）には：

- 洗濯のみ
- 乾燥のみ
- 洗濯、乾燥を続けて行う

それぞれの操作について一段階ごとの説明が記載されています。

正しく安全に使うための注意

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 一般的に重要な注意事項

 潜在的な危険・警告・注意

 感電注意

 機器に損害を与える可能性のある場合

 高温注意

 分解禁止

 電源プラグに関する注意

 水場、湿気の多い場所での使用禁止

⚠ 警 告

 本機を設置する前に、損傷がないかチェックしてください。損傷の見られる洗濯-乾燥機は設置、使用をしないでください。

 必ずアースを取り付けてください。故障や漏電の時に感電する恐れがあります。(電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。)

 電気工事はすべて電気工事設備基準に準じて行ってください。

 本機は現行の安全基準に準じて製造されています。修理技術者以外の方による修理、改造、分解は行わないでください。これによるいかなる損害も製造業者は責任を負いません。修理が必要な場合は販売店またはミーレ指定サービス店にご連絡ください。

 浴室や風雨にさらされる場所など湿気の多い場所には設置しないでください。(感電・火災・故障・変型の恐れがあります。)

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、また濡れた手で抜き差ししないでください。(感電やけがをすることがあります。)

 お手入れの際などに、本体各部に水をかけないでください。

正しく安全に使うための注意

ドラムには、灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、アルコールなどやそれらの付着した洗濯物を絶対に入れないでください。(爆発や火災の恐れがあります。)

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジン、ガソリンなどの付着した衣類は洗濯後でも乾燥させないでください。

給湯機などによる温水利用はやめてください。乾燥時温水では冷却除湿できず、乾燥できません。

注意

衣類についている取扱い絵表示等を見て洗濯機での洗濯ができるか、または乾燥機で乾燥ができるか確認してください。

小さなお子様が本機で遊んだり、操作したりすることのないようにしてください。また、お年寄りや体の不自由な方がご使用になる場合は十分ご注意ください。

室温が0℃以下となる部屋には、洗濯-乾燥機を設置しないでください。凍ったホースが圧力で破損する恐れがあります。また、電子コントロールシステム機能が損なわれる恐れがあります。

洗濯-乾燥機の背面の輸送用固定金具が取り外されていることを確認してください。

この製品は一般家庭用に設計されていますので、業務用として使用しないでください。

必ず専用コンセントをご使用ください。(単相200V、20A、アース付き)

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。(感電やショートして発火する恐れがあります。)

長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。）

機器を適切に保守し、故障のある部品は純正部品と交換してください。

排水ホースをしっかりと固定し、ホースから流れ出る水の力でホースが排水口から抜けないようにしてください。

排水ホースを洗面台などに引っかけている場合、流れ込む水が溢れないうちに排水できるか確認してください。

洗濯物に異物（釘、針、硬貨、クリップ等）が入っていないかポケットの中などを確認してください。異物など入ったまま運転しますと、部品を傷つけたり、運転の障害になることがあります。

溶剤を含む洗剤は本機には使用しないでください。部品を傷つけたり、有害な煙りやガスを発生する可能性や、火事や爆発の恐れがあります。

脱水ドラムが完全に止まるまでは、危険ですから絶対に手を入れないでください。

乾燥運転は運転が終わってから衣類を取り出してください。（乾燥中は衣類、ドラム、ドアの内側が高温になっておりやけどをする恐れがあります。）

乾燥運転時も水栓は必ず開けておいてください。（水を使って冷却除湿しますので、水栓が閉まっていると乾燥できません。）

次のような衣類を洗濯もしくは乾燥すると、引火する危険性があります。

- ゴムを含む製品、フォムラバーやそれに似た製品。
- ヘアカラー、ヘアスプレー、除光液のような物がかかってしまったもの。
- ジャケットやクッション等の裏地や詰め物がほころんだりしているもの。

本機を処分する場合には、プラグを抜いて使用できないようにしてください。機器を乱用されるのを防ぐためケーブル等は断ち切ってください。

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検、修理を依頼してください。

初めてご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みください。また取扱説明書及び保証書は大切に保管してください。

環境に対する配慮

梱包資材の処分

輸送用に使用している梱包資材は、再生素材をできるだけ使用して製作されています。

- 波形加工紙・カード
- ポリスチレン（CFCを含まない）
- 科学薬品等で処理されていない廃木材
- フェノール樹脂を含まないチップボード
- ポリエチレン箔（PE）
- 梱包ひも：ポリロピレン（PP）

これらの資材をなるべく廃棄せずに、リサイクルにご協力ください。

本機の処分

古い機器にもリサイクル可能な材料が含まれている場合があります。リサイクルしようとしているものについて、地域のゴミ集積場や回収業者、ディーラーに相談してみてください。
処分するために保管されている間、お子様に危険のないようにご注意ください。
詳しくは「正しく安全に使うための注意」の項をご覧ください。

- 洗濯-乾燥それぞれの最大容量に従って、できるだけまとめ洗いをすると水や電気の節約になります。
- 洗濯量センサーによって、1kgから最大容量まで洗う事ができます。
- 通常の洗濯で、十分きれいに洗濯できるので、予備洗い (pre-wash) は自動的にプログラムに含まれません。もし、汚れのひどい洗濯物を洗う場合は、予備洗い (pre-wash) ボタンを押してください。
- 予備洗い (pre-wash) 機能の代わりに、つけ置き洗い (Soak) 機能を追加することができます。つけ置き洗い (Soak) のあとに本洗いが続くとき、同じ洗剤が使われます。
- つけ置き洗い (Soak) 機能を追加すると、低温で本洗いを行うことができます。
- 軽い汚れの洗濯物は、ショート洗い (Short wash) 機能で洗ってください。
- 洗濯量センサーが、洗浄時間とすすぎ回数を自動的にコントロールします。洗濯量に応じて、本洗い (main wash) 時間が短くなったり、すすぎ工程が1つ省略されることもあります。
- 洗剤メーカーの指示する量以上の洗剤を使用しないでください。パッケージなどにある使用量に従ってください。
- 洗濯物が少ない場合は洗剤の量も減らしてください。(洗濯物が半分の場合は洗剤はおよそ1/3の量にします)
- 見合った回転数のうちで、一番高い回転数を指定してください。(時間とエネルギーを節約します)

初めてご使用になる前に

ドラム内の洗浄

■ 止水栓を開けます。

■ 洗濯、乾燥のプログラムセレクターを「Finish」に合わせます。

■ 「I-ON / 0-OFF」ボタンを押します。

■ 洗濯物を入れずに、ドアを閉めます。

■ 洗剤ディスペンサーの区画 \Ш/ に少量の洗剤を入れて、きちんと閉めます。

■ 洗濯 (WASHING) プログラムセレクターを「COTTONS 95℃」に合わせます。

電子ユニットが周囲の条件に正しく調整されるために、必ず「COTTONS 95℃」プログラムを選択してください。

■ 「Spin」ボタンを「Without final Spin」のランプが点灯するまで、くり返して押します。

■ 「START」ボタンを押します。

プログラムが終了したときに、庫内は洗浄されます。

■ 洗濯 (WASHING) プログラムセレクターを「Finish」に合わせます。

■ 「I-ON / 0-OFF」ボタンを押して電源を切ります。

初めて洗濯-乾燥機をご使用になる前に必ず1度空洗いを行ってください。

ご使用になる前に背面の輸送用固定金具が取り外してあるか確認してください。(P51、52参照)

洗濯物を洗うための準備

> **衣類の痛みや、ドラムの傷付きを防ぐため以下のことに注意してください。**

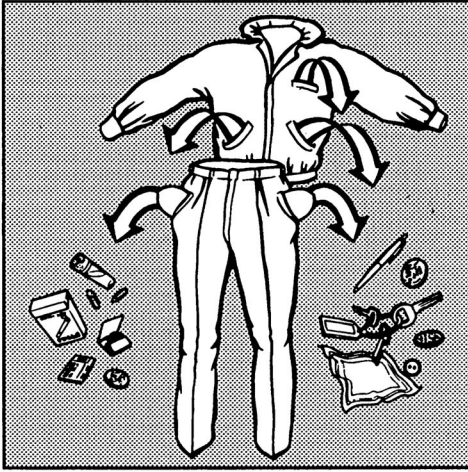
■ ポケットを空にします。

> 異物（釘、針、硬貨、クリップ等）が入ったまま運転しますと、部品を傷つけたり、運転の障害になることがあります。

■ 洗濯物を分類します。

大体の衣類は襟元か脇の縫い目に取扱表示ラベルが付いています。そのラベルを見て分類してください。

濃い色の衣類は色落ちする可能性がありますので、他の衣類と一緒に洗う前に数回単独で洗濯してください。

繊細な生地のものは細心の注意を払い、ものによっては洗濯ネットをご使用ください。

取扱表示ラベルに洗濯機での洗濯ができないと表示されているものは、本機では洗濯できません。

– カーテンについて：
  フック等の金具類は取り外してください。

– 毛玉や糸くずが気になる衣類は裏返しにして洗ってください。

– ゆるんでいるボタンや金具等は縫い付けるか、取ってしまってください。

– ワイヤー入りブラジャー等はネットに入れて洗ってください。

■ 必要であれば前洗いをします。

ひどく汚れている部分、例えば襟首や袖口など水溶性のシミは、石鹸であらかじめ洗ってください。

> **溶剤を含んだ洗剤を本機で使用しないでください。**

> **壁の損傷やけがの恐れあり**
> **防水性のシートや衣類は洗濯及び脱水しないでください。またネットに入れた洗濯物だけで洗わないでください。必ず他の衣類と一緒に洗濯してください。**
> **– 脱水中に異常振動して周囲の壁などを傷つけけがをする恐れがあります。**

洗濯だけの場合

❶ 洗濯の前に

■ 洗濯物を準備してください。

> **❗ 乾燥（DRYING）プログラムセレクターは「Finish」のところに合わせてください。そうしないと、自動的に洗濯プログラムから乾燥プログラムへと、連続して進んでしまいます。**

■ 止水栓を開けます。

■ 「I-ON / 0-OFF」ボタンを押して、スイッチを入れます。

■ 「Door」ボタンを押して、ドアを開けます。

❷ ドラムに洗濯物を入れます

■ 洗濯物を広げて入れます。

大きいものと小さいものを混ぜて洗濯すると、より良い洗浄効果が出ます。

詰め込み過ぎは、洗濯効果を下げ、しわになる原因となります。

最大洗濯容量

Cottons	5.0 kg
Minimum iron	2.0 kg
Delicates	1.0 kg
Woollens	1.0 kg
Quickwash	2.5 kg
Starch	5.0 kg
Spin	5.0 kg
Separate rince	5.0 kg

> **❗ 最大洗濯容量(5.0kg)で洗濯する場合**
> **乾燥も本機で行う場合は、洗濯プログラム終了後衣類を半分に分けて乾燥してください。**

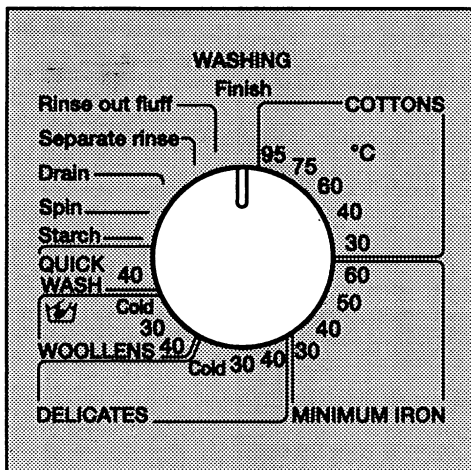
❸ ドアを閉めます

■ ドアは押して閉めずに、軽くスイングさせて閉めてください。

■ ドアとシールの間に洗濯物が挟まっていないか確認してください。

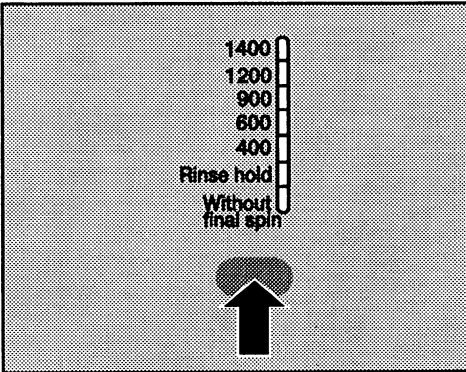
❹ 洗剤を入れます

■ 洗剤ディスペンサーの適切な区画に洗剤を入れます。

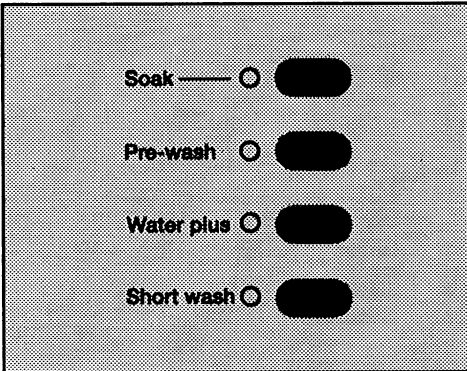
詳しくは「洗剤・柔軟仕上剤／糊付け」についての項をご覧ください。（P18、19参照）

❺ 洗濯プログラムを選択します

■ プログラムセレクターを回して、お好みのプログラムに合わせます。

それぞれのプログラムの詳細についてはプログラム表をご覧ください。（P22、23参照）

6 回転速度を選択します

■ 希望の回転速度のランプが点灯するまで「Spin」ボタンを何度か続けて押します。

標準の回転速度は24、25ページの進行表に記載されています。

7 追加オプションを選択します

■ 必要に応じて追加オプションを選択します。

追加オプションについての詳細は「洗濯プログラムの追加オプション」の項をご覧ください。（P20、21参照）

スタート予約タイマー

■ 必要に応じてスタート予約タイマーをセットしてください。

スタート予約タイマーについての詳細については「スタート予約タイマー」の項をご覧ください。（P35参照）

メモリー機能

この機能は本機のメモリー上で情報を保管し、最後の運転で選択された回転速度や、追加機能が遂行されるプログラムです。

次にプログラムが選択された時、メモリーですでに記憶された回転速度や追加機能を提供します。
スタート予約タイマーは例外となります。

8 プログラムをスタートさせます

「START」ランプが点滅しているとき、プログラムを開始することができます。

■ 「START」ボタンを押します。
「START」のランプがついたままになり、プログラムがスタートします。

9 洗濯が終わったら

■ 「洗濯-乾燥が終了したら」の項をご覧ください。（P33参照）

洗濯物の出し入れ

洗濯のみの場合

以下のプログラム中であれば、稼動中でもドアを開けて洗濯物を出し入れできます：

- COTTONS (木綿)
- MINIMUM IRON (ミニマムアイロン)
- QUICK WASH 40℃ (クイック洗い40℃)

※ドアが開けられるのは本洗い時のみです。
すすぎ運転中はドアは開けられません。

■ ドアが開くまで「Door」ボタンを押します。

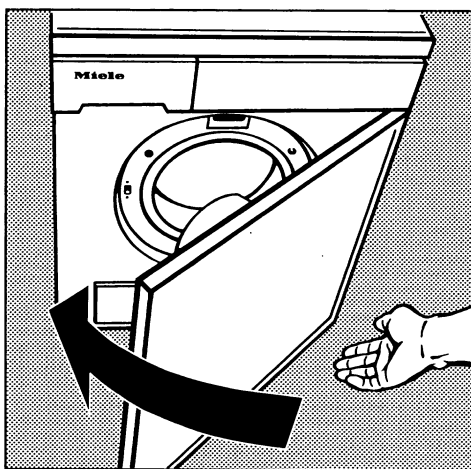
■ 洗濯物を加えたり、取り除いたりします。

■ ドアを閉めます。

プログラムは継続されます。

以下の状況では、洗濯物を付け加えたり取り除くために、ドアを開く事ができません。

- 洗濯水が70℃より上のとき。（「庫内高温のドア開閉」機能が始動している時は例外です）
- 追加機能ウォータープラス (Water plus) が選択された時。（水位が増すため）
- ロック機能が作動している時。 （P35参照）

ドラムを閉める

■ ドアは押し閉めずに、途中で手を放し、スイングするように閉じてください。

停電の時にドアを開けるには48、49ページを参照してください。

洗い方	
	液温は、95℃を限度とし、洗濯ができます。
	液温は、60℃を限度とし、洗濯ができます。
	液温は、40℃を限度とし、洗濯ができます。
	液温は、40℃を限度とし、洗濯ができます。（デリケート洗いをお勧めします）
	液温は、30℃を限度とし、洗濯ができます。（デリケート洗いをお勧めします）
	液温は、30℃を限度とし、弱い手洗いで洗ってください。（洗濯機は使用できません）
	水洗いはできません。（水洗いすると、縮み、型くずれ、色落ち、風合いが変わることがあります）
	ドライクリーニング。
	ドライクリーニング不可。

塩素漂白の可否	
	塩素系漂白剤による漂白ができます。（酸素系が使えるとは限りません）
	塩素系漂白剤による漂白ができません。（酸素系が使えるとは限りません）

しぼり方	
	手しぼりの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で終えてください。
	しぼってはいけません。（タオルなどに包んで水を切ります）

アイロンのかけ方	
	アイロンは210℃を限度とし、高い温度でかけてください。
	アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度でかけてください。
	アイロンは120℃を限度とし、低い温度でかけてください。
	アイロンがけはできません。

干し方	
	吊り干しにしてください。
	日陰の吊り干しにしてください。
	平干しにしてください。
	日陰の平干しにしてください。

洗剤の入れ方

洗剤

液体、粉末にかかわらず、現在生産されている自動洗濯機用洗剤は使用することができます。特別な応用洗剤も使用できます。

ウール製品や、ウールを含んでいるニット製品は、ウール用洗剤を使用して洗って下さい。
洗剤の量は、たいてい洗剤の容器に明記されています。使用量は、次の事項に応じて下さい。

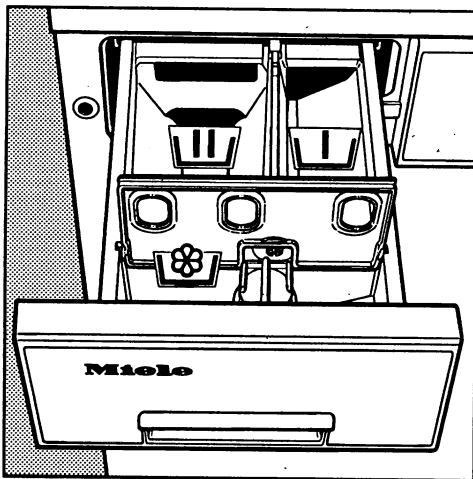
– 洗濯量
– 汚れの度合い

正しい量を守ることが重要です。

…洗剤が少なすぎる場合
- **グレーで、硬い手触りになり、きれいに洗えない。**
- **ベトベトしたものが洗濯物に付着する。**
- **石灰がヒーター部分に沈澱してしまう。**

…洗剤が多すぎる場合
- **泡が立ち過ぎてしまう。**
- **回転のレベルが低下してしまう。**
- **洗濯とすすぎの効果が低下してしまう。**
- **追加のすすぎによって、水の使用量が増加してしまう。**
- **多くの洗剤が、排水として流出してしまう。**

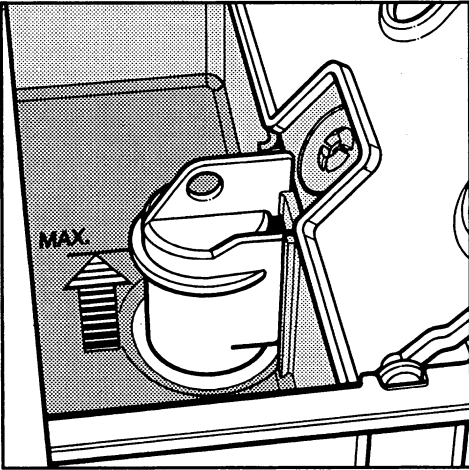
予備洗いのための洗剤は、区画 \I/ に入れ、本洗いのための洗剤は、区画 \II/ に入れます。つけ置き洗い（Soak）を使用するときは区画 \II/ に入れます。

区画

\I/ ＝予備洗い
\II/ ＝本洗い
❀（ふた付き）＝柔軟仕上げ剤

柔軟仕上げ剤／糊付け

柔軟仕上げ剤の入れ方

柔軟仕上げ剤は、衣類ソフトにして静電気を防ぎます。

1. 区画 ✿ のフタを開きます。
2. 洗剤メーカーの指示に従って、区画 ✿ の中に柔軟仕上げ剤を入れます。
   区画の内側の上部にあるリング状のマークを越えないように入れてください。

3. 区画 ✿ のフタを閉めて、洗剤ディスペンサーの引き出しを閉めます。

柔軟仕上げ剤は自動的に最終すすぎの時にドラムの中に入ります。
プログラムが終わると、少量の水が区画 ✿ に残ります。
これは、次回に柔軟仕上げ剤を流れやすくするためです。（濃縮タイプの柔軟仕上げ剤を使用するときは、流れにくいので水で薄めてからお使いください。）

リンスホールド（Rinse hold）を選ぶと洗濯物を柔軟仕上げ剤につけたままにすることができます。

柔軟仕上げ剤が流れない

サイフォン管が詰まっているか、あるいはプログラムの最終すすぎの最中にディスペンサーの引出しが開けられ、サイフォン現象が妨げられたということを示しています。

糊付け

1. 洗剤メーカーの指示に従って糊付け剤を区画 ✿ に入れます。
2. 洗濯（WASHING）プログラムセレクターを「Starch」に合わせます。
3. 回転速度を選択します。
4. 「START」ボタンを押します。

糊を数回使用した後には、ディスペンサーを清掃してください。特に水管と、柔軟仕上げ剤用の溝がきれいであることを確認してください。詳しくは「お掃除とお手入れ」の項をご覧ください。（P38参照）

糊付け終了後に洗濯物を脱水したくない場合は、回転速度を最終脱水なし（Without final spin）に合わせてください。糊付け終了後、排水して終わります。

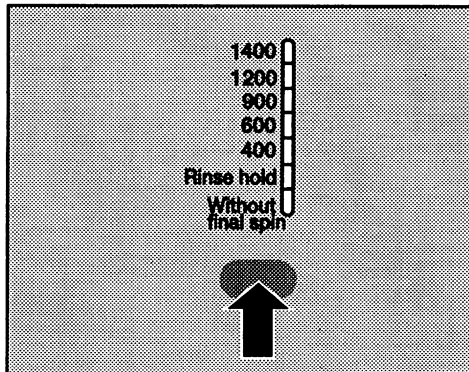
⚠ **洗剤・柔軟仕上げ剤は使用しないでください。**

洗濯プログラムの追加オプション

■ 追加オプションは、ボタンを押すことによって選択できます。

ランプが点灯している場合
=選択されています
ランプが消えている場合
=選択されていません

プログラムに適当でない追加オプションは、選択することができません。適当でない追加オプションのボタンを押しても、ランプはすぐに消えます。

回転数／リンスホールド／最終脱水なし

■ 必要なオプションのところのランプが点灯するまで、ボタンを押して下さい。

回転数400〜1400rpmでの脱水

洗濯プログラムの最終脱水、または乾燥プログラムの始めの「サーモスピン」を設定します。

リンスホールド (Rinse hold)

最終すすぎの後に、水の中に洗濯物がつかったままで停止しますが、故障ではありません。

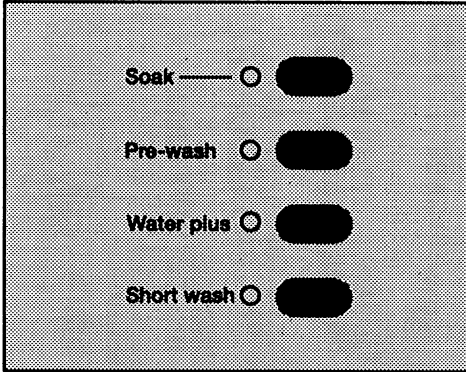
これにより、洗濯物が本機から取り出される前にしわになるのを防ぎます。

プログラムを続ける：

- **最終脱水を行う**
  「Spin」ボタンで回転速度を選択します。
- **最終脱水なし**
  「Without final spin」が選択されるまで、繰り返して「Spin」ボタンを押します。

最終脱水なし (Without final spin)

最終すすぎ後の洗濯物は脱水されず、排水してそのまましわ防止段階に進みます。

脱水させたくない、またはしてはいけない洗濯物のときに選択します。

つけ置き洗い(Soak)

汚れのひどい洗濯物や、汚れが乾燥している洗濯物を洗う場合に使用します。

※つけおき時間：2時間

「つけおき洗い」の場合の洗剤量：

洗剤の量は、つけおき洗いの後に実行される洗濯プログラムに従って、メーカーが指示している量を使用して下さい。

予備洗いなし：

■ 全ての洗剤を区画 \Ш/ か、もしくは直接ドラムに加えて下さい。

予備洗いあり：

■ つけおき洗いと予備洗い用に洗剤の1/4を区画 \I/ に入れ、本洗い用に3/4を区画 \Ш/ に入れます。

予備洗い(Pre-wash)

汚れのひどいものや、しみのついた物を洗う際に使用します。

ウォータープラス(Water plus)

COTTONS、MINIMUM IRON、QUICK WASH 40℃のすべてのプログラムにおいて水量を増加します。

－ 特に繊細な生地のものを洗う場合
－ 洗剤量に対してより多くの水が必要である場合
－ 更にすすぎ工程をしっかりと行う場合

ショート洗い(Short wash)

洗濯時間を短くします。

COTTONS、MINIMUM IRON、DELICATESプログラムに対応しています。

－ 軽い汚れの物に

パーマ液等化学変化したしみ、鉄さび、墨汁、日光等で黄変したものは落ちないものもあります。

プログラム表・洗濯

プログラム	衣類と素材	温度範囲	最大容量
COTTONS（木綿）	木綿と亜麻布、例えばベッドリネンやテーブルリネン、タオルやジーンズ、Tシャツ、下着、おむつなど	95℃～30℃	5kg
MINIMUM IRON（ミニマムアイロン）	(60℃) 白いナイロン、白いポリエステル生地 (50℃) 色物ナイロン、ポリエステル、特別仕上げの木綿、アクリル繊維の木綿、色物ポリエステル / 木綿 (40℃/30℃) 高い温度では洗えない合成繊維など	60℃～30℃	2kg
DELICATES（デリケート）	アクリル、アセテート、トリアセテート、合成繊維（ウールやウールの混紡を除く）の靴下、ストッキング メーカーの表示で機械洗いのできるカーテン地	40℃～ Cold* 30℃とCold*	1kg ドラムにゆるく1/2～3/4
WOOLLENS（ウール）	機械洗い、手洗いが可能なウール製品またはウールの混紡製品	40℃～ Cold*	1kg
QUICK WASH 40（クイック洗い）	非常に軽い汚れの衣類 デリケートな衣類には適しません	40℃	2.5kg
Starch（糊付け）	テーブルクロス、ナプキン、オーバーオール、ユニホーム	Cold*	5kg
Spin（脱水）	手洗いした物等の脱水に 最大容量は生地の重量となります		5kg
Drain （排水）	リンスホールド後の排水に		
Separate rinse（セパレートリンス）	追加のすすぎが必要な場合に		
Rinse out fluff（糸くず取り）	**洗濯物を入れないで下さい**		

* 「Cold」を選んでも、洗剤の効果を高めるために水は24℃まで加熱されます。

注意	追加オプション	回転オプション
汚れがひどいものは「Soak」あるいは「Pre-wash」を選んでください。 汚れが軽いものは「Short wash」を選んでください。	－Soak －Pre-wash －Water plus －Short wash	－Spin（最高1400） －Rinse hold －Without final spin
汚れがひどいものは「Soak」あるいは「Pre-wash」を選んでください。 汚れが軽いものは「Short wash」を選んでください。	－Soak －Pre-wash －Water plus －Short wash	－Spin（最高900） －Rinse hold －Without final spin
ウールを含む衣類にはウールプログラムを選んでください。 短いプログラムとしてはQUICK WASH 40℃ではなくDelicates ＋ Short washを使用してください。 埃っぽいカーテンには、pre-washをお勧めします。	－Soak －Pre-wash －Short wash	－Spin（最高600） －Rinse hold －Without final spin
専用の液体洗剤を使用してください。 他の手洗いのできる生地を一緒に洗う場合は、回転数を下げるか、必要であればRinse hold / Without final spin / Drainを選択してください。		－Spin（最高1200） －Rinse hold －Without final spin
洗剤の量を減らしてください。（半分の量）	－Water plus	－Spin（最高1400） －Rinse hold －Without final spin
柔軟仕上げ剤は使用しないでください。		－Spin（最高1400） －Rinse hold －Without final spin
「Spin」ボタンで回転速度を選択してください。		－Spin（最高1400）
		－Spin（最高900） －Rinse hold －Without final spin
色物洗いや、乾燥運転後のドラム洗浄プログラムです。 **重要：ドラムの中に洗濯物が残っていてはいけません！このオプションを選択する前には必ずドラムが空であることを確認してください。**		

プログラム進行表

	COTTONS (木綿)	MINIMUM IRON (ミニマムアイロン)	DELICATES (デリケート)
つけ置き洗い (Soak)	任意	任意	任意
予備洗い (Pre-wash)	任意	任意	任意
本洗い (Main wash)	●	●	●
トップアップリンス (Top-up rinse)	75℃から	–	–
流しすすぎ	–	40℃から	–
すすぎの回数 – 標準	3または4[1]	3	3
–少量	2	3	3
–ショート洗い (Short wash)	2	2	3
すすぎと中間脱水 (rpm)	最高1000	最高500	–
最終脱水 (rpm)	最高1400	最高900	最高600
しわ防止作動時間	最高30分	最高30分	最高30分
洗濯リズム	普通	普通	ソフト洗い
水位 – 洗い	低[2]	低[2]	高
–すすぎ	低[2]	中[2]	高

説明：

● 機能

[1]ドラムの中に泡が多すぎる場合、あるいは脱水速度が900rpm未満にセットされている場合は、すすぎの回数は自動的に4回となります。

[2]**水量の増加：**

ウォータープラス (Water plus) を押して水量を増やせます。

トップアップリンス (Top-up rinse)：

高温による排水は、配水管に損害を与える可能性があるので、本洗い終了時にドラムに水を追加し、内部の温度を下げます。

流しすすぎ：

急激な温度変化によってできる衣類のしわを避けるために、洗濯工程の最後に給水と排水 (多少の水の入れかえ) が繰り返され、内部の温度を下げます。

ウール：

ウールは濡れた状態で動かすと痛みやすいので、ドラムはより一層ゆっくり回転します。

WOOL (ウール)	QUICK WASH 40℃ (クイック洗い40℃)	Starch (糊付け)	Spin (脱水)	Separate rinse (セパレートリンス)
–	–	–	–	–
–	–	–	–	–
●	●	–	–	–
–	–	–	–	–
–	–	–	–	–
2	2	–	–	–
2	2	–	–	–
–	–	–	–	–
最高600	最高500	–	–	–
最高1200	最高1400	最高1400	最高1400	最高900
–	最高30分	最高30分	最高30分	最高30分
ウール	普通	ソフト洗い	–	–
低	低 2)	中	–	–
低	中	–	–	高

すすぎと中間脱水：
すすぎ効果を高めるため、すすぎの間に脱水を行います。

最終脱水：
「Spin」ボタンで選択できるプログラムの最高脱水速度です。

しわ防止：
脱水終了後、洗濯物をすぐ取り出さなくてもしわにならない様に、ドラムが1分間に2回の割合で回転します。しわ防止機能は、「Door」ボタンを押すことでいつでもキャンセルすることができます。

洗濯と乾燥を連続で行うときには、しわ防止機能は乾燥プログラムの最後に実行され、洗濯プログラムの最後には行われません。

乾燥の準備

すべての衣類が乾燥機で乾燥するのに適している訳ではありません。衣類に付いている取扱絵表示に注意してください。

乾燥について表示のない場合は、以下の様に判断してください：

- CottonsとMinimum ironの衣類は、該当するプログラムで乾燥させてくだ
- 繊細な生地（例えばアクリル繊維）には低温設定を選んでください。（「Drying / low temp」ボタンを押す）

以下の衣類は、乾燥機で乾燥しないでください：

- ウールとウール混紡の衣類
  絡み合い、縮んでしまいます。
- ダウンの入った衣類
  ダウンの品質によっては、縮んでしまいます。
- 亜麻100%の衣類
  表面が毛羽立ってしまう傾向があります。取扱表示に、乾燥機使用可とある場合のみ、乾燥機で乾燥することができます。
- 吊り干し、平干し表示のあるもの
- タンブラー乾燥はお避けくださいと表示のあるもの
- ドライ絵表示のあるもの

手引き

織り物やループニットの素材は、品質によっては縮む傾向があります。乾燥が過ぎると、更に縮み易くなります。

織り素材を購入するときは、縮み特性を確認してください。

しわになりやすい衣類は、乾燥時間を短くしてください。

100%綿で、低温アイロン表示のワイシャツやブラウスは、品質と織りによっては乾燥中に、しわになることがあります。低設定で短いプログラムを使用してください。それでもしわになってしまう場合は、乾燥機での乾燥はおやめください。

低温アイロン表示の衣類は、一度に乾燥する量が多いと、しわになりやすいのでご注意ください。特に繊細な生地の場合は、衣類の量を減らしてください。

色移りを避けるために、濃色の衣服は、淡色の衣服と分けて乾燥してください。

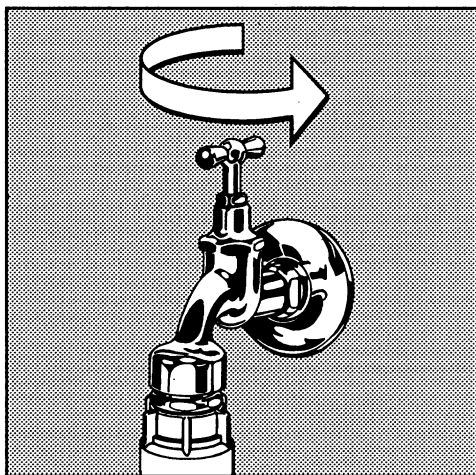
本機は非常に湿った洗濯物に対処するようには設計されていないため、乾燥工程の前には必ず脱水をしてください。
回転できないものは、乾燥機で乾燥できません。

給湯機等による温水利用はできません。

乾燥プログラムの最大容量より、洗濯プログラムの洗濯量が多いときは、洗濯プログラムから続けて乾燥を行なわないでください。

1 乾燥の前に

■ 洗濯物を用意してください。

洗濯（WASHING）プログラム・セレクターを、「Finish」に合わせてください。「Finish」に合わせられていないと、洗濯（WASHING）プログラムが、先に始動してしまいます。

■ 止水栓を開きます。

■ 「I-ON / 0-OFF」ボタンを押して電源を入れます。

■ 「Door」ボタンを押します。

■ ドアを開けて、前の洗濯物を取り除きます。

2 洗濯物を入れます

■ 乾燥結果をよくするために、生地のタイプと残った水分量について、できる限り生地を分類してください。

■ 選り分けた洗濯物を、つめ過ぎないように入れてください。

最大乾燥容量

Cottons	2.5 kg
Minimum iron	1.0 kg
Timed drying	2.5 kg

洗剤ディスペンサーに洗剤がないことを確認してください。乾燥機の稼動中に、洗剤が溶け出し、機械と洗濯物に損害を与えることがあります。

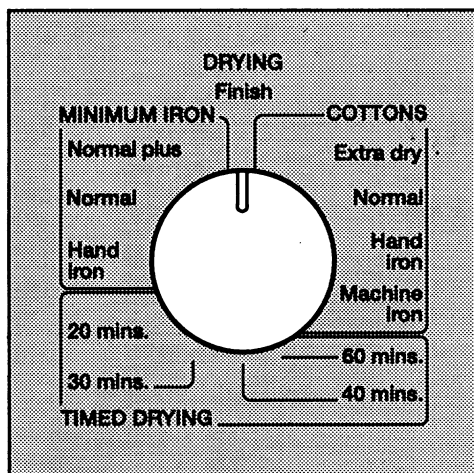
! ドラムに洗濯物を入れ過ぎないでください。洗濯物を入れ過ぎると、しわになったり、十分に乾燥されないことがあります。

3 ドアを閉めます

■ ドアは押して閉めずに、軽くスイングさせて閉めてください。

■ ドアとシールの間に洗濯物が挟まっていないか確認してください。

乾燥だけの場合

❹ 乾燥プログラムを選択します

■ 乾燥プログラムセレクターを必要なプログラムにあわせてください。

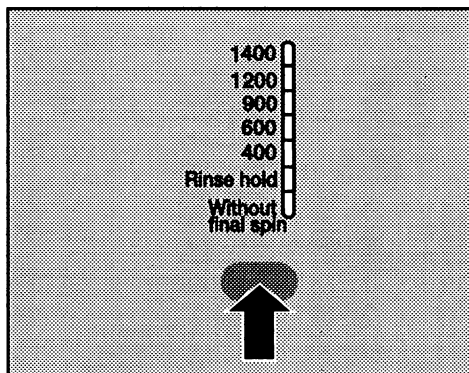
乾燥プログラム表に、各プログラムの詳しい説明があります。（P30、31参照）

COTTONSとMINIMUM IRONプログラムでは、エネルギー消費を減らすために「サーモスピン」を行います。回転速度は表示ランプで確認できます。
注意：ヒーター弱（Drying / Low temp）オプションが選択されていると、サーモスピンは行われません。

サーモスピンの標準回転速度

Cottons ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1400rpm
Minimum iron ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 900rpm

❺ 追加オプションを選択します

サーモスピン（Thermospin）

■ サーモスピンの回転速度に達するまで、「Spin」ボタンを押して下さい。
時間指定プログラムは例外となります。

ヒーター弱（Drying / Low temp）

乾燥プログラムの温度を下げます。

– アクリル等の熱に弱い洗濯物を乾燥するときに使用します。

■ ヒーター弱（Drying / Low temp）オプションは、必要に応じて追加することができます。
サーモスピンは、行われません。

❗ 時間指定プログラムで、低温で乾燥の指示のある衣類を乾燥させているときは、常にヒーター弱（Drying / Low temp）オプションを選択してください。

スタート予約タイマー

■ 必要に応じてスタート予約タイマーをセットしてください。

スタート予約タイマーについての詳細は「スタート予約タイマー」の項をご覧ください。（P35参照）

メモリー機能

この機能は本機のメモリー上で情報を保管し、最後の運転で選択された回転速度や、追加機能が遂行されるプログラムです。

次にプログラムが選択された時、メモリーですでに記憶された回転速度や追加機能を提供します。
スタート予約タイマーは例外となります。

❻ プログラムをスタートさせます

「START」ランプが点滅しているとき、プログラムを開始することができます。

■ 「START」ボタンを押します。
「START」のランプがついたままになり、プログラムがスタートします。

**内部温度が70℃を超えると、ドアを開くことができなくなります。
このとき「Door」ボタンを押すと、「Locked」ランプが点灯します。
「庫内高温のドア開閉」機能がセットされている場合は、例外となります。（P36、37参照）**

乾燥が終わったら

■ 「洗濯・乾燥プログラムが終了したら」の項をご覧ください。（P33参照）

プログラム表・乾燥

プログラム	衣類と素材	最大容量	注意	追加オプション
COTTONS（木綿）				
Extra dry（エクストラドライ）	「Normal」プログラムを使っても乾燥しにくい多層性、厚手の布地	2.5kg	ジャージー等は、品質や製造方法によっては縮むことがありますので、このプログラムを使用しないでください。	–Thermo-Spin（最高1400） –Drying / Low temp
Normal（ノーマル）	いろいろな種類の木綿製品、単層性の布地と多層性の布地	2.5kg	–	
Hand iron（ハンドアイロン）	木綿・亜麻布（リンネル）（例えばテーブルクロス、寝具のカバーなどアイロンをかける必要のある洗濯物）	2.5kg	–	
Machine iron（マシンアイロン）	マシンアイロンでプレスするための洗濯物 木綿またはリンネル製品	2.5kg	アイロンをかけるまでは乾燥しないように、洗濯物を丸めておいて下さい。	

❗ 乾燥使用時は、必ず止水栓を開けておいてください。

プログラム	衣類と素材	最大容量	注意	追加オプション

Minimum iron（ミニマムアイロン）				
Normal plus（ノーマルプラス）	合成繊維や混紡のもので、プルオーバーやドレス、ズボンなど「Normal」プログラムでは乾燥しにくい物	1kg	乾燥運転の前に、約30秒間脱水して下さい。	–Thermo-Spin（最高900） –Drying / Low temp
Normal（ノーマル）	木綿や合成繊維のシャツ、テーブルクロス等	1kg		
Hand iron（ハンドアイロン）	シャツ、テーブルクロス等で、後でアイロンをかける物	1kg		

Timed Drying（時間指定）				
20分 30分 40分 60分	始めは短めの設定時間で運転してみて、どれくらいで希望の乾燥状態に達するかチェックしてください。 – 乾燥時に変化してしまうような多層性の布地や詰め物をした物 – もう少し乾燥したい物	洗濯物のタイプによって1-2.5kg	乾燥運転の前に、約30秒間脱水して下さい。 **合成繊維のものを乾燥するときは必ず「Drying / low temp」ボタンを押して下さい。**	–Drying / Low temp

〈上手な乾燥〉

乾きむらを少なくする
- 化繊と綿、厚ものと薄ものをわけて乾燥する。

しわを少なくする
- 乾燥終了後はできるだけ早く衣類を取り出す。
- 標準乾燥容量より少なめに入れる。

連続して洗濯・乾燥を行う場合

注意：
連続して洗濯・乾燥までを行う場合、洗濯物の量は、乾燥プログラムの最大量を超えない様にしてください。

「洗濯だけの場合」、「乾燥だけの場合」の項もよくお読みください。

❶ 止水栓を開きます。

❷ スイッチを入れて、ドアを開けます。

❸ 洗濯物を入れます。

最大洗濯-乾燥重量

Cottons	2.5 kg
Minimum iron	1.0 kg
Quickwash	1.0 kg
Starch	2.5 kg
Spin	2.5 kg

❹ ドアを閉めます。

❺ 洗剤を入れます。

パッケージに記された洗剤メーカーの指示に従って下さい。

❻ 洗濯プログラムを選びます。

- 洗濯（WASHING）プログラムセレクターを必要なプログラムに合わせます。
- 必要に応じて希望の回転速度に達するまで「Spin」ボタンを何度か続けて押します。
- 必要に応じて追加オプションを選択します。

❼ 乾燥プログラムを選びます。

- 乾燥（DRYING）プログラムセレクターを必要なプログラムに合わせてます。

サーモスピンの回転速度は洗濯プログラムの回転速度によって自動的に決められます。

– TIMED DRYING（時間指定）プログラムと、ヒーター弱（Drying / Low temp）追加オプションの場合は例外となります。

- ヒーター弱（Drying / Low temp）追加オプションはどんなプログラムにでも追加して選ぶことができます。

❽ 必要な場合は「スタート予約タイマー」を設定します。

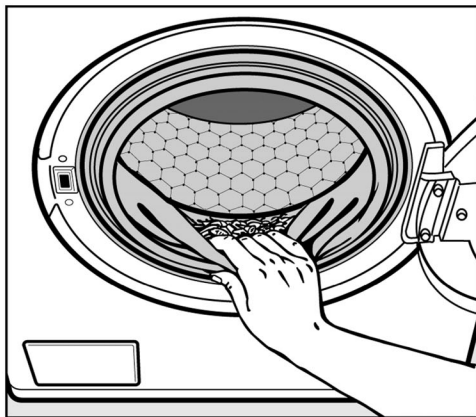
❾ プログラムを開始します。

- 「START」ボタンを押します。

毎回の洗濯や乾燥の後に

■ 「Door」ボタンを押してドアを広く開けます。

> **乾燥後、金属キャップは熱くなっているのでお気を付け下さい。**
> **ドア・ガラスの上部にある金属キャップに触らないで下さい。火傷をする恐れがあります。**

■ 洗濯物を取り出します。

■ ドアシールの内側に異物等が詰っていないか確認してください。もし、異物があれば取り除いてください。

> **ドラム内が空であることを確認してください。取り忘れると色落ちしたり、縮むことがあります。また、次の運転時に入ったままになっていると、洗濯物が傷む場合があります。**

■ ドアを閉めます。

> **ドアが開いたままになっていると、ドラム内に不用意に物が入ってしまうことがあります。そのまま洗濯や乾燥運転が行われると、洗濯物に損害を与えることがあります。**

■ 「I-ON / 0-OFF」ボタンを押して、電源を切ります。

乾燥の後に

糸くず取り (Rinse out fluff) プログラム

> 乾燥工程の間に、糸くずがドラムや、排水フィルターにたまります。他の衣類に付かないように、この糸くずを次に運転する前にすすぎ出してください。

> **糸くず取りプログラムは、すすぎ工程として利用しないでください。**
> **ドラムの中に洗濯物が残っていないか確認してください。**

■ スイッチを入れます。

■ 乾燥 (DRYING) プログラムセレクターを「Finish」に合わせます。

■ 洗濯 (WASHING) プログラムセレクターを糸くず取り (Rinse out fluff) に合わせます。

■ 「START」ボタンを押します。

糸くずは数分の水洗いですすぎ出されます。

■ ドアシールから残っている糸くずを取り除いて下さい。

■ スイッチを切ります。

プログラムの変更

プログラムは、「START」ボタンを押した後でも変更することができます。洗濯物の量が乾燥プログラムの最大容量を超えない場合は、洗濯プログラム運転中いつでも、乾燥プログラムに続くように設定することができます。

プログラムのキャンセル

■ 洗濯、乾燥両方のプログラムセレクターを「Finish」に合わせます。

プログラム進行表示ランプは、順々に点滅していきます。「ON」のランプだけが点灯したとき、プログラムはキャンセルされています。

プログラムを間違えたときの変更

■ 洗濯、乾燥両方のプログラムセレクターを「Finish」に合わせます。

■ 「ON」のランプだけが点灯したあとに、新しいプログラムにプログラムセレクターを合わせます。

■ 必要に応じて、追加オプションを設定し直します。

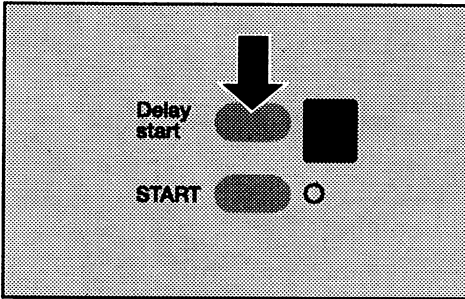
■ 「START」ボタンを押します。

ロック機能を使用したときのプログラムの変更

「ロック機能」の項をご覧ください。（P35参照）

スタート予約タイマー (Delay start)

スタート時間は、1～9時間後まで設定できます。

■ プログラムを選択します。

■ 設定したい時間がディスプレイに表示されるれるまで、繰り返し「Delay start」ボタンを押してください。

■ 「START」ボタンを押すと、スタート予約タイマー時間のカウントダウンが始まります。設定時間が経過すると、プログラムは自動的に始動します。

スタート予約タイマーのキャンセル

■ ディスプレイの表示が消えるまで、繰り返し「Delay start」ボタンを押すと、すぐにプログラムが始動します。

もしくは、

■ 「I-ON / 0-OFF」ボタンを押して、電源を切ります。

ロック機能

ロック機能が作動していると(「Locked」ランプが点灯しています)、プログラム運転中は、ドアを開けることも、プログラムをキャンセルすることもできません。

– プログラム変更の操作をした場合、「Anti-crease / Finish」ランプが点滅しますが、プログラムは変更されません。

– 「リンスホールド」が終わり、プログラムが終了した後に、ロック機能は解除されます。

ロック機能の始動

■ プログラムを選択し、スタートさせます。

■ 「Locked」ランプが点灯するまで、「START」ボタンを押し続けます。

– ロック機能が、始動します。(赤いランプが点灯します)

– プログラムが終了するまで、変更はできません。

ロック機能の解除

■ 「Locked」ランプが消えるまで、「START」ボタンを押し続けます。

「Anti-crease / Finish」ランプが点滅している場合：

■ 最初に選んだプログラムに戻し、「Locked」ランプが消えるまで、「START」ボタンを押し続けます。

プログラム機能

様々な、異なる操作をプログラムすることができます。削除をしないかぎり、プログラム機能はメモリーに保存されます。

注釈

A.　高水位設定

特によくすすぎたい時に効果的です。

以下の洗濯プログラム使用時に利用することができます：

- COTTONS
- MINIMUM IRON
- QUICK WASH 40℃

B.　COTTONSプログラム使用中の追加すすぎ。

すすぎ回数を追加。

「COTTONS」プログラムのすすぎ回数を1回増やすことができます。

C.　ブザー（Buzzer）

ブザーは、洗濯／乾燥プログラムの終わりに鳴ります。

ブザー・セットをすることにより、ブザーを鳴らすことも止めることもできます。

D.　庫内高温のドア開閉

洗濯または乾燥プログラムの実行中に、温度が70℃以上の場合でもドアを開けることが可能です。

この機能を使用した場合、やけどや洗濯物が焦げる危険性がありますので、十分注意してください。

E.　乾燥設定

電子ユニットは、最良の乾燥結果を設定していますが、好みにより乾燥時間を短縮、または延長できる機能があります。

乾燥時間の短縮:

時間	ディスプレイ表示
1分	1
2分	2
3分	3
4分	4

乾燥時間の延長:

時間	ディスプレイ表示
1分	5
2分	6
3分	7
4分	8

出荷時設定　「0.」

A~Eのセットアップ

プログラム機能は、追加のオプションボタンとWASHINGプログラムセレクターにより始動することができます。

❶ スイッチを切り、ドアを閉めます。
洗濯(WASHING)と乾燥(DRYING)プログラムセレクターが、「Finish」になっていることを確認してください。

❷ 「Soak」と「Pre-wash」ボタンを同時に押したままの状態で「I-ON/0-OFF」ボタンを押します。

❸ すべてのボタンを離します。

- 「Soak / Pre-wash」と「Washing」のLEDランプが点滅します。
- 「P」がディスプレイに表示されます。

❹ 必要なプログラム機能のうち1つを選択します:

A. 高水位設定
洗濯(WASHING)プログラムセレクターを「Rinse out fluff」に合わせます。

B. 追加すすぎ
洗濯(WASHING)プログラムセレクターを「Separate rinse」に合わせます。

C. ブザー
洗濯(WASHING)プログラムセレクターを「COTTONS 40℃」に合わせます。

D. 庫内高温時のドア開閉
洗濯(WASHING)プログラムセレクターを「DELICATES－cold」に合わせます。

E. 乾燥設定
洗濯(WASHING)プログラムセレクターを「MINIUM IRON 30°C」に合わせます。

❺ **プログラム機能A-B-C-Dを始動します。**
プログラム機能を選ぶと、ディスプレイに以下の表示が現れます:
0 ＝プログラム機能オフ。
(始動しません。)
または、
1 ＝プログラム機能オン。
(始動します。)
「START」ボタンを使い 0(オフ)から1(オン)へ、1(オン)から0(オフ)へと切り替えることができます。

プログラム機能 E
繰り返し「START」ボタンを押し、プログラム機能E.を始動させてください。
乾燥時間短縮
乾燥時間を1分毎に短縮することができます。(1、2、3、4がディスプレイに表示されます)
乾燥時間延長
乾燥時間を1分毎に延長することができます。(5、6、7、8が、ディスプレイに表示されます)
工場設定に復帰させることができます。
(0が、ディスプレイに表示されます)

❻ いくつかのプログラム機能を始動させる場合は、❹～❺のステップを繰り返してください。

❼ 「I-ON / 0-OFF」ボタンでスイッチを切ります。
プログラム機能がメモリーされます。

❽ 洗濯(WASHING)プログラムセレクターを「Finish」に合わせてください。

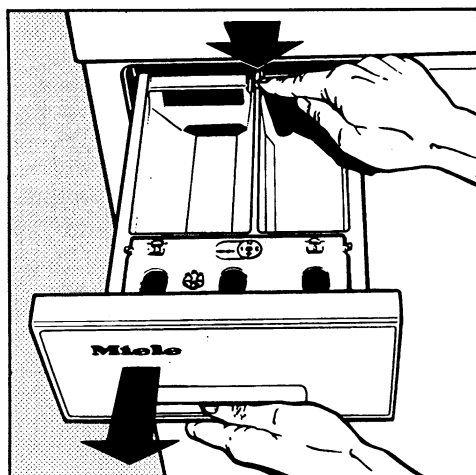
お掃除とお手入れ

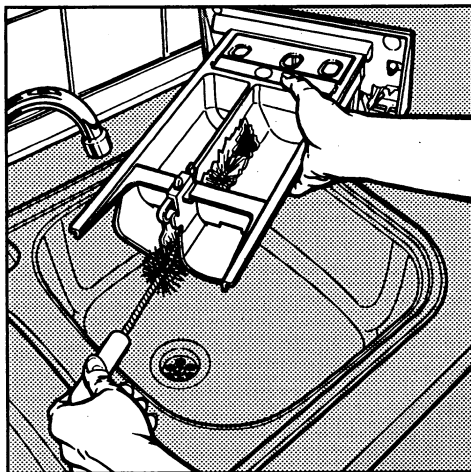
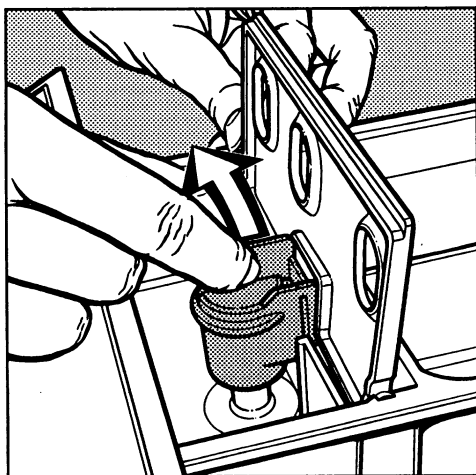
研磨剤入りの洗剤、台所用洗剤や多目的洗剤を使用しないでください。
それらの洗剤に含まれる化学薬品が、プラスチックの表面を傷めることがあります。

洗濯機の掃除

■ 研磨剤を含んでいないマイルドな洗剤か石鹸を使用し、ケーシングの汚れをおとします。柔らかい布で乾ぶきしてください。

■ 操作パネルは湿った布でふいた後、柔らかい布で乾ぶきしてください。

洗剤ディスペンサーの掃除

■ 引き出しを抵抗が感じられるところまでいっぱいに引き出してください。

■ 赤いリリースノブを押しながら、引き出してはずしてください。

■ 洗剤ディスペンサーと柔軟仕上げ剤ディスペンサーの区画をきれいにしてください。

■ サイフォン管を区画 ✿ から取りはずし、お湯で洗って元の位置に戻してください。

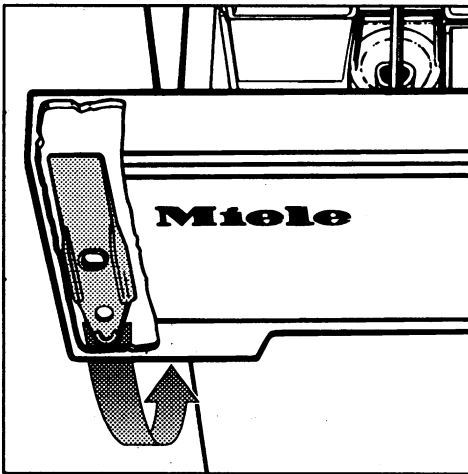
■ もし必要な場合は区画 ✿ の溝もきれいにしてください。

糸くずフィルターとポンプの掃除

はじめに3～4回使用した後、どれくらいの頻度で糸くずフィルターを掃除する必要があるかを、チェックしてください。

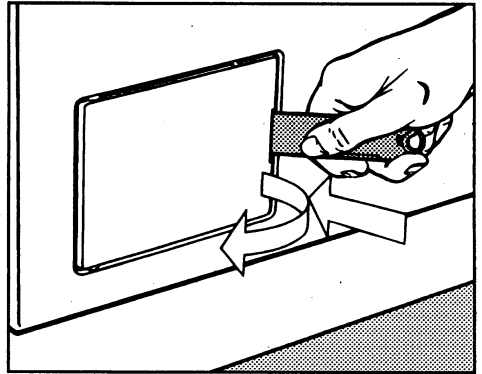
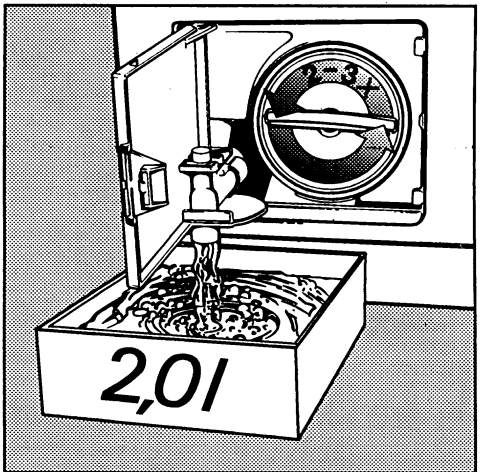
高温での洗濯運転後、すぐに排水するときは熱湯にご注意ください。火傷をする恐れがあります。

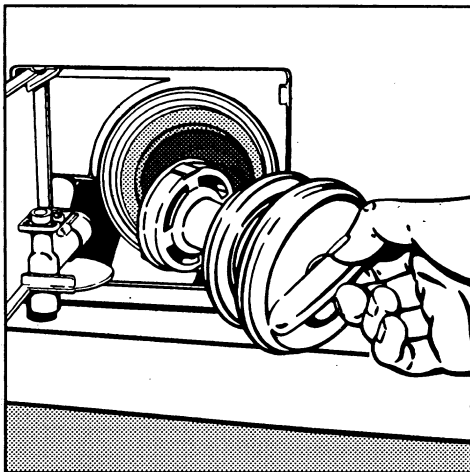
通常の掃除の場合はおよそ2リットルの水が流れ出ます。

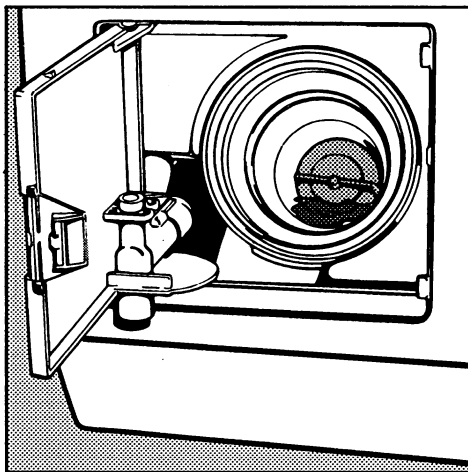
排出口が詰まっている場合には、水は洗濯機の中にたまっています。（最高25リットル）

■ 洗剤ディスペンサーの引き出しの裏側から排水点検口を開けるためのオープナー（黄色）を取り出してください。（上図参照）

■ ドアを開けます。

ドアを開けたら電源プラグを抜いてください。

■ オープナーで排水点検口を開きます。

■ 排水点検口の下に受け皿を置きます。

糸くずフィルターをはずしてしまわないように、2～3回まわしてしてください。このとき、およそ2リットルの水が流れ出ます。
ストップさせたい場合は、糸くずフィルターを元の位置まで戻します。

■ 受け皿を一度空にして、再度排水作業を行ってください。

■ 排水が終了したら、糸くずフィルターを完全に取りはずします。

> **糸くずフィルターを掃除して異物（ボタン、硬貨等）と糸くずを取り除いてください。**

> **インペラーを手でまわして、自由にまわるかどうかをチェックしてください。障害を引き起こす異物があれば取り除いてください。**

■ 糸くずフィルターのハウジング内部を掃除してください。

> **フィルターのハウジング内部とフィルター・ユニットから洗剤や異物を取り除いてください。**

■ 糸くずフィルターを挿入し、しっかりと締めてください。

ドア内側にあるガラス面の掃除

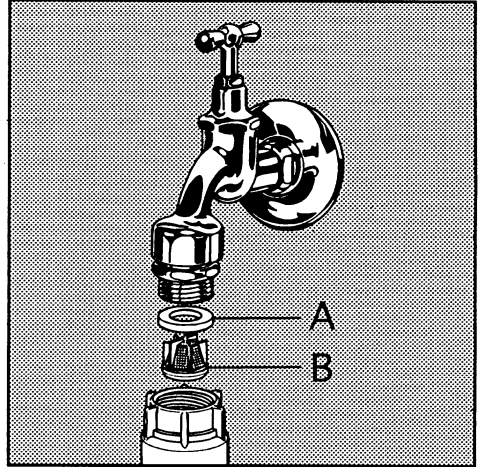
■ ガラス面はマイルドな洗剤か石鹸と、水を使用して時々掃除をしてください。拭きとりは、柔らかい乾いた布を使用し、洗剤が残っていないことを確認してください。

給水フィルターの掃除

この洗濯機は、給水弁を保護するために2つのフィルターを使用しています。

給水ホースのフィルターは、6ヵ月に一度給水を止めてから掃除をしてください。

■ まず、止水栓を閉めます。

■ 給水ホースと止水栓を接続するカップリングをまわして、はずします。

■ ゴム製シール (A) を取り出してください。

■ 尖ったペンチを使って、プラスチック製のフィルター (B) をつかんではずし、水洗いしてください。

■ フィルターとシールを元に戻して、ホースを再度接続してください。

止水栓を開け、つなぎ目から水が漏れていないか確認してください。
水が漏れる場合は、接続を締めなおしてください。

掃除の後、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。

故障？と思う前に

■ 電気器具の修繕修作業は、危険を伴います。修理の際は必ず専門家に依頼してください。
■ 故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなときは…

こんなときは…	原因	修理
プログラムが作動しない。	電源が入っていません。 「ON」ランプが点灯しない。あるいは「START」ランプが点滅していない。	以下の事をチェックしてください： － ドアは完全に閉まっていますか？ － プラグは電源に差し込まれていますか？ソケット、スイッチは入っていますか？ － 電源ヒューズ、ブレーカーが落ちていませんか？
「Check inlet/outlet」ランプが点灯しているが、プログラムは、通常通り作動している。	プログラムは通常通り作動していますが、給水は制限されています。	－ 止水栓は十分に開いていますか？ － 給水ホースは、よじれていませんか？ － 水圧が下がりすぎていませんか？販売店またはサービス店に連絡してください。 － 給水ホースのフィルターが詰まっていませんか？フィルターを掃除してください。
「Check water inlet/outlet」ランプが点灯して、洗濯物が洗われない。	給水システムに問題があります。	－ プログラムセレクターを「Finish」に合わせます。 － 止水栓を開いて給水します。 － プログラムを選び再び始動します。
「Check water inlet/outlet」ランプが点灯している。	排水システムに問題があります。	－ 糸くずフィルターと排水ポンプを掃除してください。 － 排水ホースが高すぎませんか？（排出ヘッドの最大高は1mです）
	ウォータープルーフシステムが反応しています。	－ 販売店またはサービス店に連絡してください。

こんなときは…	原因	修理
以下のランプのひとつが点滅している。 －「Soak / Pre-wash」 －「Main wash」 －「Rinses」	故障があります。	－ 再びプログラムを始動します。ランプが再び点灯するようなら、販売店またはサービス店に連絡してください。
「Final spin」ランプが点滅している。	アンバランスを発見したため、最終脱水ができませんでした。	－ 洗濯物を詰め直します。 － 洗濯（WASHING）プログラムで「Spin」を選びます。 － 洗濯物のタイプにより、回転速度を選びます。
乾燥プログラム終了まぎわに「Drying overload」ランプが点滅する。	洗濯物が多すぎます。	このまま運転を続けますと、繊細な生地にシワが生じたり、乾燥状態にムラが生じます。これを避けるには、以下のようにしてください。 － 洗濯物をいくつか取り除きます。 － 再び乾燥プログラムを始動させます。
	効果的な循環過程で十分に乾燥させるには、洗濯物に湿気が多く残り過ぎています。	今後、同様の洗濯物は、より高い回転数で脱水してください。
「Locked」ランプが点灯している。	ロック機能が始動しています。	ロック機能の項をご覧ください。（P35参照）
「Anti-creaee/Finish」ランプと「Locked」ランプが点灯している。	ロック機能が始動しています。プログラム設定を変えてください。	ロック機能の項をご覧ください。（P35参照）

故障？と思う前に

こんなときは…	原因	修理
乾燥サイクルの後、洗濯物にまだ湿気が残っている。	洗濯物が1kg未満の場合、少な過ぎる洗濯物には湿気センサーシステムが作動しません。	少ない洗濯物はTimed Drying（時間設定）プログラムで乾燥させてください。
	洗濯-乾燥を続けて運転しているとき： 「サーモスピン」中に、ドラムの中の洗濯物がかたよっていたため、洗濯物がリング状にかたまってしまった。 **乾燥運転のみしているとき：** 「サーモスピン」中に、洗濯物がリング状にかたまってしまった。 － 洗濯物が非常に湿っています。 － 回転速度が非常に高く設定されています。	－ 「WASHING」「DRYING」プログラムセレクターを共に「Finish」に合わせる。 － ドアを開け、洗濯物をほぐします。 － 少し低めの回転速度を選びます。 － 再び乾燥プログラムを始動させます。
ドアを、開けることができない。	電源に接続されていません。	－ プラグは電源に差し込んであるか？
	電源故障です。	－ このセクションの終わりに記述されるように、ドアを開けてください。（P48、49参照）
	ドアが、正しく閉じられていません。	－ ドアボタンを押しながら、左側からドアを強く押してみてください。
	ドラムに水が残っています。	－ 洗濯（WASHING）プログラムセレクターを「Drain」に合わせ、水を排出してください。 － ドアを開けてください。
ドアボタンを押したときに、「locked」ランプが点滅し、ドアが開けられない。	これは、故障ではなく「locking」機能が働いているからです。	内部の温度が70℃以上のときは、安全のためドアは開きません。

こんなときは…	原因	修理
乾燥中または乾燥後に、ドアを開けることができない。	安全基準として、内部の温度が70℃を越えているとき、ドアを開けることはできません。	オプション 1： － 温度が70℃以下になるまで待つと、ドアは開けられます。
		オプション 2： 「Cooling down」を選択してください。 － 乾燥（DRYING）プログラムセレクターを「Finish」に合わせます。 － 「Cooling down」ランプが点灯したらすぐに乾燥（DRYING）プログラムセレクターを「Extra Dry」に合わせます。「Cooling down」が選択されます。 － 「Cooling down」機能終了後「Anticrease/Finish」ランプが点灯したら、ドアを開けることができます。 乾燥プログラムがすでに終わっている場合は、新しいプログラムを2～3分程度始動させてください。
乾燥プログラムが終了してからも、ドラムに水が残っている。	排水口が詰まっています。	－ 糸くずフィルターを掃除し、排水してください。
脱水時に洗濯機が振動する。	洗濯機が水平に設置されていません。	－ 洗濯機を水平に設置してください。詳しくは「設置」の項をご覧ください。（P53参照）
適切な水圧であるにもかかわらず、水がスムーズに入らない。	給水フィルターが汚れています。	－ 給水フィルターを掃除してください。

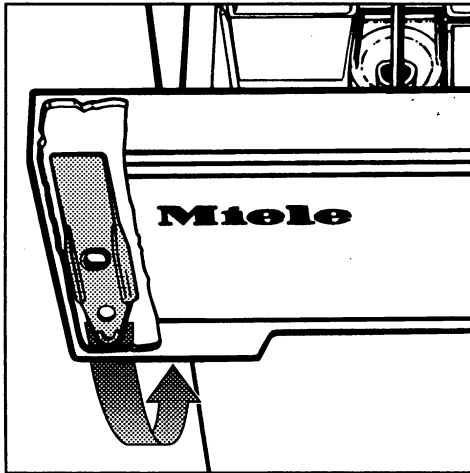
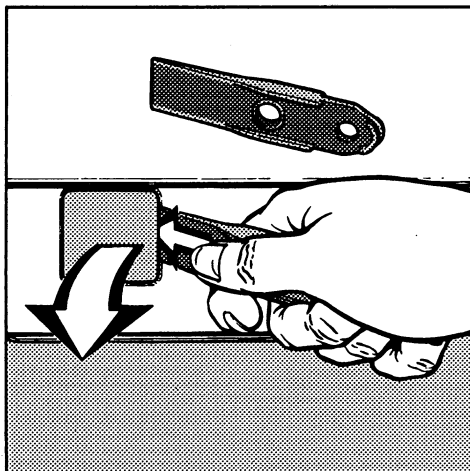
故障？と思う前に

こんなときは…	原因	修理
脱水が、十分におこなわれていない。	選択された回転速度が、低すぎます。	ー 次回はより速い回転速度を選んでください。
	洗濯物がドラムのなかで、均一にひろがっていません。 洗濯機を保護するために、低い速度で回転しています。	ー アンバランスを避けるため、洗濯物は大きな物と小さなものを混ぜて洗うことをお勧めします。
	糸くずフィルターが詰まっています。	ー 糸くずフィルターを掃除してください。
洗剤が洗剤ディスペンサーのなかに残る。	給水の圧力が低すぎます。	ー 給水フィルターを掃除してください。 ー ウォータープラス（Water plus）を選択するのも効果的です。
柔軟仕上げ剤が効かない、または 区画の中に水が残る。	ディスペンサー引き出しがしっかり閉まっていません。	
	サイフォン管の位置が正しくありません。 サイフォン管が詰まっています。	ー サイフォン管を掃除してください。 同様に、 区画の溝を掃除してください。
泡立ちすぎている。	洗剤が多すぎます。	ー 適切な温度で、泡立ちの少ない洗剤だけを使用してください。 ー 洗剤メーカーの勧める使用量を守ってください。 ー あまり汚れていない洗濯物や少量の洗濯物では、使用する洗剤の量をそれに応じて減らしてください。

こんなときは…	原因	修理
グレーの脂（油）性の小さな粒が洗濯物に付着する。	洗剤が少なすぎて、汚れを落としきれず、油汚れが集まってしまったためです。	ー 洗剤を追加するか、液体の洗剤を使用してください。 ー 次回の洗濯の前に、COTTONS 60℃プログラムで空洗いをし、ドラムを掃除してください。
排水ポンプの音が大きい。	騒音は通常の操作の一部として、排水工程の終わりに起こります。これは故障ではありません。	

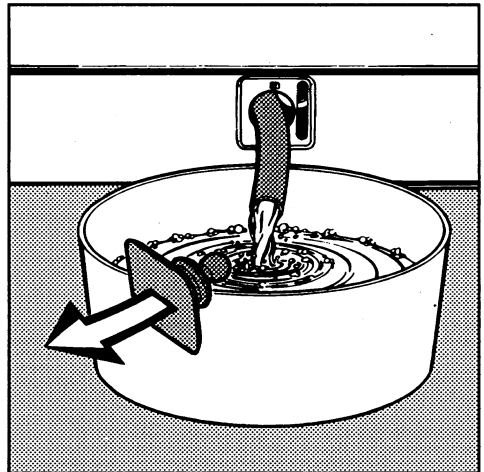
電源故障の際のドアの開け方

電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 電源を切ります。

■ 洗剤ディスペンサーの引き出しの裏にあるオープナー（黄色）を取りはずします。

■ フラップを開けます。

■ 排水口の下に受け皿を置きます。

■ その受け皿に排水ホースを入れます。

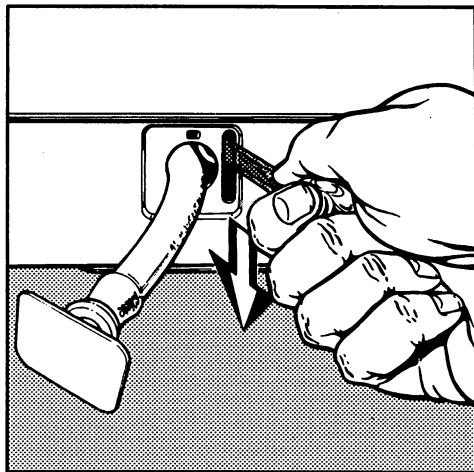
高温で洗濯して、すぐに排水する場合は熱湯にご注意ください。火傷をする恐れがあります。

■ ストッパーをはずします。

放出される水量は、排水口の高さによって変わります。排水を数回繰り返し、水を完全に排出してください。

■ 水の流れが止まったら、ストッパーを元に戻します。

■ スプーンの柄などを使って非常用のドア手動解放レバーを下に下げます。
（イラスト参照）
ドアが開きます。

■ ストッパーとホースを再び台座に押し込みます。

⚠ **常にドラムが動いていないことを確認してから、作業をしてください。動いているドラムに手を近付けるのは、非常に危険です。**

水圧チェック

■ 止水栓の下に測定バケツを置きます。

■ 止水栓を開きます。

■ 15秒間に5リットルの出水量であれば、水圧は正常です。

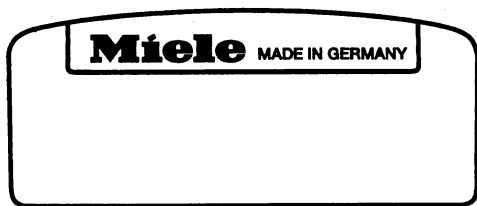
※ **水道水圧** 0.1～1.0MPa
(1.0～10kgf/cm^2)

アフターサービス

修理について

修理の際には、販売店またはサービス店にご連絡ください。

修理を依頼される際は、モデルナンバー、シリアルナンバーをお知らせください。
洗濯機のドアを開けるとドラム口上部に、データプレートが見えます。

例

アップデートシステム

サービスエンジニアが将来本機をアップデートできるように、PCの表示ランプがあります。

例えば技術的な開発が進んだ場合、サービスエンジニアが、既存のプログラムサイクルに修正を加え、新たな機械制御を入力することができます。

そのような利用が可能になったとき、ミーレから情報をお知らせします。

設置場所

洗濯機の設置場所には、コンクリートの床がもっとも適しています。柔らかな特性をもつ木の床より、コンクリートの床は、スピンサイクルの間の振動がはるかに少ない傾向があります。

以下のポイントに注意してください：

洗濯機は水平に、そして安全に設置してください。

回転中の振動を避けるため、柔らかい床面に洗濯機を設置しないでください。

木製の床に設置しなくてはならない場合は、少くとも厚さ30mm、60×60cm大の合板ベースの使用をお勧めします。理想的には、ベースはいくつかの梁にまたがるよう、十分な大きさが必要です。

通常、床面のもっともしっかりした場所は、コーナー部分です。

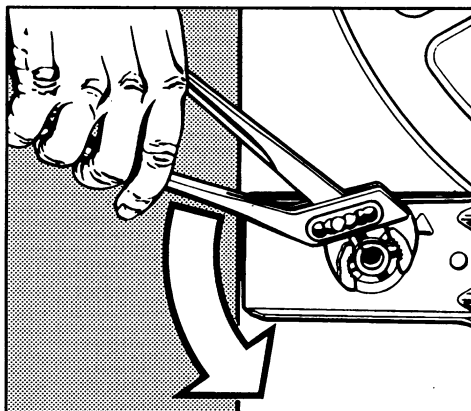
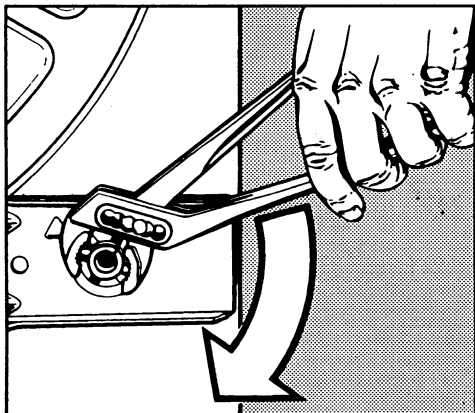
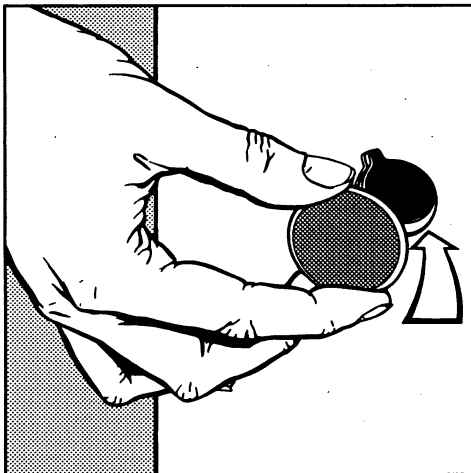
常にドラムが動いていないことを確認してから、作業をしてください。動いているドラムに手を近付けるのは、非常に危険です。

設置

洗濯機を包装から取り出し、設置場所へ運んでください。
以下の事にご注意ください：

ドラムドアを持って、洗濯機を持ち上げないでください。

脚部と床がスピンサイクル中のスリップ防止のために、乾いた状態になっているかを確認してください

輸送用固定金具の取り外し

■ 輸送用固定金具を左に90°回します。

■ 輸送用固定金具を右に90°回します。

■ 支持プレートと共に2本の固定金具を引き出します。

■ 付属品のプラスチックキャップを2ケ所の穴に差し込みます。

本機は、輸送用固定金具なしで移動しないでください。

輸送用固定金具は再度移動する場合に必要ですので、保管しておいてください。
本機を移動する際は必ず輸送用固定金具を取り付けてください。

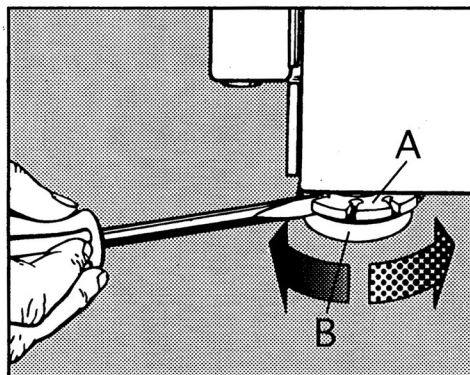
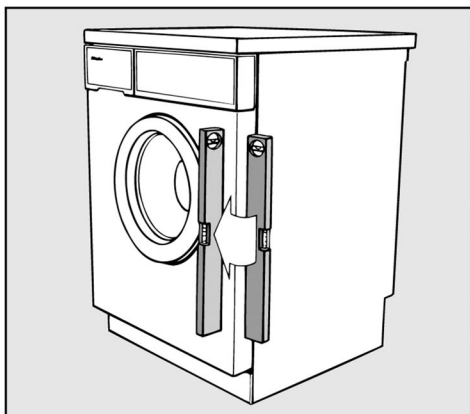
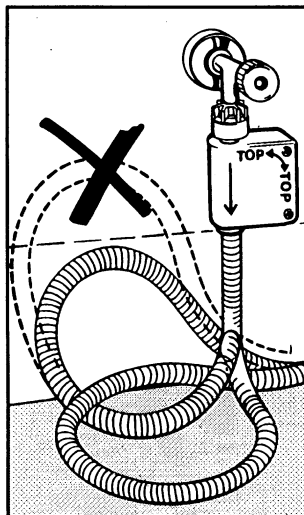
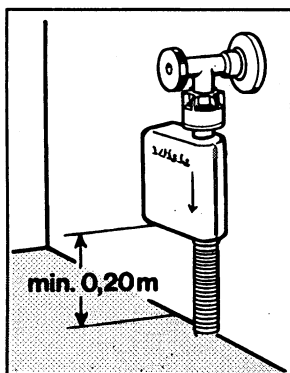
⚠ 洗濯機の据え付けは、必ずお買い求めの販売店、または指定サービス店にご依頼ください。

⚠ アース線は必ず取り付けてください。

ご転居により、販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前以て販売店にご相談ください。ご転居先でのミーレ取り扱い店を紹介させていただきます。

製品を設置または移動される際には、本機を水平に設置してください。

■ Aのロックナットをゆるめ、Bの調節脚を回して、水平にしてください。

■ 水平に設置したらロックナットをしっかり締め、調節脚を固定してください。

この機器は給湯接続できません。

給水の接続

取り付け

本機を水道の本管に正しく接続してください。

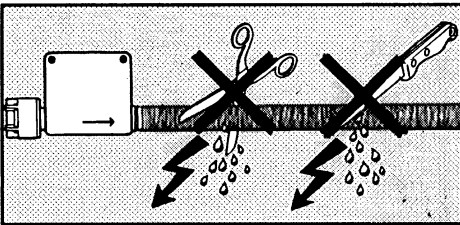
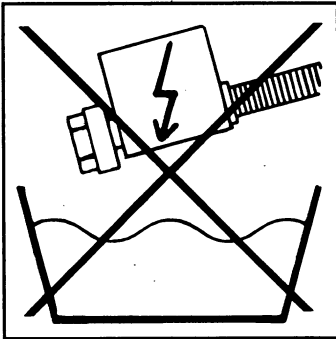
本機は、最小0.1MPa（1kgf／cm^2）の水圧で稼動するように設計されています。0.1MPa（1kgf／cm^2）の水圧は、15秒で5リットルの水をコンテナに流し込むことができます。

最高静水圧は、1MPa（10kgf／cm^2）です。

「ウォータープルーフシステム」を正しく作動させるにはイラストを参照して、正しく設置してください。

止水栓と洗濯機を接続するミーレの「ウォータープルーフシステム」は、水漏れ防止に最適なシステムです。

給水接続後水漏れを調べるために、止水栓をゆっくりと開いてみてください。水漏れがあるようでしたら、接続部分を正しく調整してください。

ホースの保護カバーに、損傷を与えないでください。

「ウォータープルーフシステム」はオプションとして4.0mのホースがあります。

重要！
接続部のプラスチックケースには、電気部品が含まれています。
絶対水につけないでください！

「ウォータープルーフシステム」は以下のような、水漏れによる害を防止します：

洗濯-乾燥機が水漏れしている場合の事故防止

本体から漏水した場合は、機械底のドレンパンに集められ「フロートスイッチ」が働き、それ以上の水が機器に流れ込まないように、自動的に安全バルブのスイッチを切ります。

給水ホースが水漏れしている場合の事故防止

給水ホースをおおっている保護カバーを通し、漏水はドレンパンに集められます。「フロートスイッチ」が働き、給水のスイッチを切ります。

メンテナンス

「ウォータープルーフシステム」ユニットを取り外す場合は、電源プラグを抜いてください。

給水ホースを交換するときは、7MPa (70kgf／cm^2) までの水圧に耐える仕様の、ミーレオリジナル「ウォータープルーフシステム」ホースを使用してください。

給水バルブを保護するために、フィルターは外さないでください。

配管工事／電気の接続

排水システムへの接続

本機は、排水ポンプを通して排水します。
排水ヘッドは1mです。

排水ホースをよじらないでください。
ホースの終わりの回り継ぎ手（エルボー）は、どの方向にも回せます。緊急時には急なねじりや、引っぱりで取り外すことができます。

排水ホースの寸法：

長さ ……………………………1.5m
内径 ……………………………22mm
外径 ……………………………30mm
回り継ぎ手の外径 ………………32mm
（エルボー）

排水ホースの接続：

- 直接シンクに流す場合：シンク端に、外れないように排水ホースを引っかけてください。水があふれずにスムーズに流れるか、また洗濯機に逆流することがないかを、確認してください。
- 排水ホースは折れ曲がらないように注意してください。
- 排水ホースが短い場合は延長することができます。
（排水ホースの横引きは最長4.0mです）

電気の接続

この洗濯-乾燥機は：

定格電圧 ……………………単相200V
定格周波数 …………………50/60Hz
定格消費電力 ………………2250W

20A専用コンセントを設けてください。

電源は必ずコンセントを使用し、絶対直結はしないでください。

電気工事はすべて電気工事設備基準に準じて行ってください。

必ずアースを取り付けてください。故障や漏電の際に感電する恐れがあります。（電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするように法令で定められています。）

アフターサービスと保証について

保証書について

保証書は、販売店または指定サービス店が所定事項を記入のうえお渡しします。その際、必ず「据付日、販売店名、商品引き渡し店名」等が記入されていることを確認のうえ、記載内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

● 保証期間は、据付日から１年間です。

＊ ただし、この期間中でも故障の原因や修理の内容によっては有料となる場合があります。詳しくは保証書をよくお読みください。

修理について

修理・サービスを依頼される前に、「故障？と思う前に」をお読みになり、もう一度ご確認ください。ご確認のうえ、なお異常のある場合はご自分で修理なさらずに、必ず販売店もしくはサービス店にご連絡ください。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づき、無料あるいは有料で修理いたします。

● 保証期間経過後の修理
修理により製品の機能が維持、回復できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。

＊ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスの依頼について

修理および転居・改築の際の製品移動、その他ご不明な点は、販売店もしくは指定サービス店にご依頼またはお問い合わせください。

● お知らせいただきたい内容

1．異常の状況
2．製品名（保証書に記載してあります）
3．据付日（　　　　〃　　　　）
4．型　式（　　　　〃　　　　）

＊ 型式・製造番号はドアを開けると「ステッカー」が見えます。

仕様

高さ	850mm（＋10mm / －5mm）
幅	595mm
奥行（ふた有り）	600mm
奥行（ふた無し）	575mm
重量	99kg
最大床面負荷	1600ニュートン（約160kg）
洗濯容量	最大5.0kg（乾燥時の重量）
乾燥容量	最大2.5kg（木綿／乾燥時の重量）
定格電圧	単相200V
定格消費電力	洗濯時2000W、乾燥時1150W、 モーター消費電力250W
適用ヒューズ	20A
周波数	50Hz／60Hz
標準使用水量	洗濯56L、乾燥9L
水圧	0.1～1MPa（1～10kgf／cm^2）
排水ポンプヘッド	最大1m
排水ホース横引き	最大4m

愛情点検

長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を！

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●洗濯乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる
●水漏れがする
●その他の異常や故障がある

●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ミーレ・ジャパン株式会社

本社：〒150-0044東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11F
TEL (03) 5784-0033（家電販売課）　FAX (03) 5784-0035
TEL (03) 5784-0042（カスタマーサービス課）　FAX (03) 5784-0043